

敬老の日に寄せて



浅内小学校3年
原田 恵さん

大好きなおばあちゃん

わたしのおばあちゃんは浅内小学校の近くにすんでいます。だから、学校の帰りにたまに遊びに行きます。わたしが行くと、「いらっしやい」と、元気にむかえてくれます。わたしは、そんなおばあちゃんが大好きです。

おばあちゃんは、何でもできます。今回は、その中の3つをしようかします。

1つ目はバドミントンが上手にできることです。わたしは、たまにおばあちゃんとポンポコ山に行きます。そこで、おばあちゃんとバドミントンをします。ラリーをすると3回か4回つづきます。おばあちゃんは上手で、わたしはいつもまけてしまつてくやしいです。だけど、いつかおばあちゃんにかちたいです。おばあちゃんにコツを聞いて、おばあちゃんをこえるくらいになりたいです。

2つ目は、ペンきょうを分かりやすく教えられる



湊城南小学校5年
坂田伊桜里さん

いつも優しいおじいちゃん、おばあちゃん

私には、いっしょに住んでいるおじいちゃんとおばあちゃんがいます。学校に行くとき、毎朝げんかんに出てきて「いってらっしやい、気をつけて行ってきてね」と声をかけてくれます。家に帰ると、「お帰りなさい」と言ってくれるのでとても安心します。

おじいちゃんは、さつきやバラなどたくさんのお花を育てるのが好きです。春、夏、秋と家の周りにはいろいろな花が咲いていて、とてもきれいです。その花たちは、私たち家族にいつも元氣とやすらぎを与えてくれています。

私がおじいちゃんのごいと思つところは、60さいのときから毎日一日も忘れずに、天気予報やその日の主な出来事を3行にまとめていることです。そのノートは、今ではもう7冊目になるそうです。私も1回まねをして書いてみましたが、1週間しか続かなかつたので、14年間も続けているおじいちゃん

能代の子どもたちは、おじいさんやおばあさんから愛情をたくさんもらい、のびのびと育っています。敬老の日を前に、子どもたちが今伝えたい感謝の気持ちを紹介します。

今回紹介した作文は、9月16日(月・祝)敬老の日に行われる「能代市敬老式」で本人が朗読することになっています。

問合せ 教育研究所 ☎73・5178



ニツ井中学校1年
野呂美澄晶さん

おばあさんたちの言葉

昨年の夏、私は地域の焼き物づくり体験に参加し、おばあさんたちからいろいろな言葉をかけてもらいました。焼き物づくり体験は、自分が作りたいものを作るといった内容で、私が住んでいる地域のおばあさんたちと一緒に作りました。私は二回目の参加でしたが、やはり簡単にできるものではなく、失敗を繰り返しました。

「内側にこうやって練り込むんだよ」
おばあさんたちが話している声が聞こえます。そこで、私もそのやり方を試してみるも、失敗。内側に内側に、とやってみても失敗ばかりです。

「これをこうやって練り込むの」
突然、おばあさんが話しかけてきました。

「どうやってやっているんですか」
私は思わず質問してしまいました。

「雑にやるんじゃないなくて、丁寧に丁寧に優しくや

ことです。わたしは、おばあちゃんの家で宿題をしていて、分からなくてこまってしまふときがあります。そんなとき、おばあちゃんが教えてくれます。とくに、算数の長さや重さのべんきょうを教えてくださいます。やさしく教えてくれるので、わたしはうれしい気持ちになります。テレビのクイズ番組でも、ほぼ全問正かいなので、そんなけいします。

3つ目はおいしいごはんを作ってくれることです。おばあちゃんは、ラーメンやチャーハンなどを作ってくれます。わたしが一番好きなのは、しおラーメンです。上のりをのせて食べると、もつとおいしです。こんどは、わたしもいっしょに作って、おばあちゃんによるこんでもらいたいです。

このように、わたしのおばあちゃんは何でもできるけど、わたしがギターをひくと、すぐになてしまいます。そんなおばあちゃんをわたしがささえていたらいいなと思います。ずつと元気なおばあちゃんいてね。

をすごく尊敬しています。また、物事を続けることの大切さも教えてもらいました。

おばあちゃんは、学校や部活の帰りに迎えにきてくれます。また、お父さんやお母さんの仕事がおそいので、代わりに夕飯を作ってくれます。おばあちゃんが作る料理はすごくおいしくて、その中でもハンバーグやたきこみご飯、毎日出てくるみそ汁が大好きです。4年生のときには、みそ汁の作り方を教えてもらって私も作れるようになりました。自分一人で作って食べてもらったとき、家族のみんなが「おいしい」と言ってくれたので、とてもうれしかったです。この後もいろいろな料理を教えてもらって、おばあちゃんのように料理上手になりたいです。

私がおうれいと思うことは、おじいちゃんもおばあちゃんもがんばればほめてくれることです。テストで100点をとったとき、運動会で1位をとったとき、絵や習字で賞をとったときなど、いろいろな場面ではめてくれます。ほめられると、次もがんばろうという気持ちになります。おじいちゃんとおばあちゃんにやる気を出させてくれるのです。

おじいちゃんやおばあちゃんがいることで、私たち家族は安心してくらし、いろいろなことを教えられ、助けられています。本当におじいちゃん、おばあちゃんには感謝しています。私もおじいちゃん、おばあちゃんのように優しく、人に尊敬される人になりたいと思います。そして、おじいちゃんとおばあちゃんが私たち家族を見守り、元気をくれるように、私もこれからいろいろなことをがんばって、おじいちゃんたちに元気パワーを返していきたいと思っています。

最後に、大好きなおじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気で長生きしてください。

るんだよ」

「自分では優しくやっているとつもりなのですが」

会話しながら優しく教えてもらいました。

「おめ、強く練り込みすぎてるべ」

なまった口調で笑われましたが、おばあさんたちから言われたことに注意し、動きをまねするように、自分の作品を回しながら、優しく練り込んでいきました。

言われたとおりに続けていくと、知らず知らず夢中になり、次第に楽しくなってきました。

完成が近づいたとき、また話しかけられました。

「おめ、さつきより上手になってるべ。夢中になれば楽しいもんだな」

優しい口調と笑顔で、おばあさんたちは褒めてくれました。その言葉がうれしくて、ラストスパートをかけました。その後も失敗はありましたが、おばあさんたちのおかげで、楽しく焼き物づくりができました。

今回の焼き物づくり体験で、私はおばあさんたちからたくさん言葉をかけてもらうことができました。何度も失敗し、やめたくなることもありましたが、おばあさんたちのおかげで夢中になって楽しくできました。この体験で制作した焼き物は、能代市役所ニツ井地域局の子育て支援センター「さんぽえむ」に展示されたそうです。指導していただいたおばあさんたちのおかげだと思っています。

また、コツをつかめば、何事も楽しく夢中になれる。これも、おばあさんたちから学んだことです。

焼き物づくり体験の機会がまたあったら、ぜひ参加し、またおばあさんたちに会いたいです。そして「うまくなつたなあ」「手つきが慣れてるねえ」など、褒められるようにがんばりたいと思います。